

工事・会計管理部 成果報告

工事・会計管理部長 佐野 仁 則

部局達成度

				
-	3	-	1	-

総 括

工事・会計管理部では、適正な公共事業及び会計事務の運用に努めてきました。

工事管理においては、計画的で効果的な行政運営を目指す中、職員の技術水準の向上と技術継承を図るため、研修計画に基づいた研修や最新技術等の情報提供に努めました。また、コスト構造改善や現場の安全管理を推進し、適正な公共工事の執行及び品質の確保を図るため、工事設計時の審査と工事施工中の監察及び検査に努めました。

会計管理においては、会計事務に関する研修や適切な事務手順の周知、指導を実施するとともに、チェック体制の強化を図りながら、職員の会計事務能力の向上に努めました。また、日々の収支状況を正確に把握し、安全かつ確実な方法で資金管理の運用に努めました。

今後も、事務事業執行部門から独立したチェック機能を持つ部として、公共事業や会計事務が適正に執行されているか審査するとともに、公金の効率的な管理運用に努めていきます。

組織目標ごとの達成状況

- I. 適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコストの最適化と品質確保及び現場の安全管理を推進するとともに、技術職員のスキルアップにつながる研修や、技術的な指導・助言を行います

技術職員の人材育成については、技術職員研修計画に基づき、監督職員や主任監督職員研修のほか、現場の安全対策に関する専門研修を開催するとともに、OB職員による技術継承研修を実施し、職員の意識改革と技術力向上を図りました。

コスト構造改善業務の推進については、コスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修会や公共工事に関する最新の情報提供を通して、職員のi-Construction等に関する知識向上に加え、現場の働き方改革について、周知啓発を図りました。また、技術研究発表会を実施し、職員の技術力及びプレゼンテーション能力の向上に取り組みました。

工事現場の適正な施工体制の確保については、パトロールを通じ監督職員及び受注者に対して指導、助言を行い、適正な施工体制を確保するよう促しました。さらに、工事監察実地研修を行い、適正な施工体制の理解や意識を高めることに取り組みました。

II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の会計実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な管理運用に努めます

会計事務については、定期監査後の全庁共有・対応フローにより、引き続きチェック体制の強化を図り、適正な会計事務の執行に努めました。

また、法令・規則に基づく収入・支払事務が適正に行われるよう、職員を対象に会計事務研修会を開催し、会計事務能力のスキルアップを図りました。特に、新しい研修方法として、誰もが時間にとらわれず、自席で会計事務を分かりやすく学習できるようにe-ラーニング研修動画教材（トライアル版）を自主制作しました。

公金管理においては、日々の収入・支出見込みを正確に把握し、細心の注意を払い資金管理を行うとともに、安全かつ確実な方法できめ細かに運用しました。

I. 適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコストの最適化と品質確保及び現場の安全管理を推進するとともに、技術職員のスキルアップにつながる研修や、技術的な指導・助言を行います

1	技術職員の人材育成	 	達成度																																																	
実行内容																																																				
行動目標	<p>技術職員に必要な基礎技術、現場の安全管理等を習得するため、技術職員研修会を行います。特に、工事検査、工事監査及び会計実地検査などの結果を研修内容に反映し、工事の品質確保と職員の意識改革に取り組みます。</p> <p>また、若手職員に対し、伝える・育てる技術継承に取り組むとともに、建設系資格について積極的に情報提供し、資格取得を促進します。</p> <p>さらに、新しい技術について広く情報を収集し、関係課との共有を図ります。</p>																																																			
取組内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>○新採用職員研修 [前期] (関連法規、設計積算)</td> <td style="text-align: right;">: 5月11日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 3名)</td> </tr> <tr> <td>○新採用職員研修 [後期] (工事設計、施工管理)</td> <td style="text-align: right;">: 11月17日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 3名)</td> </tr> <tr> <td>○工事監督職員研修 (設計積算、施工管理、検査)</td> <td style="text-align: right;">: 8月2日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 39名)</td> </tr> <tr> <td>○主任監督職員研修 (入札・支払事務等)</td> <td style="text-align: right;">: 8月21日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 29名)</td> </tr> <tr> <td>○ソフト実務研修 [積算システム]</td> <td style="text-align: right;">: 5月11日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 4名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[電子納品入門編]</td> <td style="text-align: right;">: 5月11日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 7名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[土木CAD・入門編]</td> <td style="text-align: right;">: 7月1日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 6名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[建築CAD・入門編]</td> <td style="text-align: right;">: 7月2日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 1名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[土木CAD・スキルアップ]</td> <td style="text-align: right;">: 9月28日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 1名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[電子納品・スキルアップ]</td> <td style="text-align: right;">: 9月28日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 2名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[情報共有システム]</td> <td style="text-align: right;">: 11月8,9日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 10名)</td> </tr> <tr> <td>○専門研修 (現場の安全対策)</td> <td style="text-align: right;">: 10月27日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 33名)</td> </tr> <tr> <td>○技術職員基礎研修 (建設関連法規及び実施計画)</td> <td style="text-align: right;">: 10月27日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 15名)</td> </tr> <tr> <td>○技術継承研修 [土木]</td> <td style="text-align: right;">: 11月24日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 41名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">// [電気]</td> <td style="text-align: right;">: 11月25日</td> <td style="text-align: right;">(参加者 28名)</td> </tr> <tr> <td>○資格試験の受験案内、試験合格のための講座案内</td> <td style="text-align: right;">: 8回</td> <td></td> </tr> </table>				○新採用職員研修 [前期] (関連法規、設計積算)	: 5月11日	(参加者 3名)	○新採用職員研修 [後期] (工事設計、施工管理)	: 11月17日	(参加者 3名)	○工事監督職員研修 (設計積算、施工管理、検査)	: 8月2日	(参加者 39名)	○主任監督職員研修 (入札・支払事務等)	: 8月21日	(参加者 29名)	○ソフト実務研修 [積算システム]	: 5月11日	(参加者 4名)	[電子納品入門編]	: 5月11日	(参加者 7名)	[土木CAD・入門編]	: 7月1日	(参加者 6名)	[建築CAD・入門編]	: 7月2日	(参加者 1名)	[土木CAD・スキルアップ]	: 9月28日	(参加者 1名)	[電子納品・スキルアップ]	: 9月28日	(参加者 2名)	[情報共有システム]	: 11月8,9日	(参加者 10名)	○専門研修 (現場の安全対策)	: 10月27日	(参加者 33名)	○技術職員基礎研修 (建設関連法規及び実施計画)	: 10月27日	(参加者 15名)	○技術継承研修 [土木]	: 11月24日	(参加者 41名)	// [電気]	: 11月25日	(参加者 28名)	○資格試験の受験案内、試験合格のための講座案内	: 8回	
○新採用職員研修 [前期] (関連法規、設計積算)	: 5月11日	(参加者 3名)																																																		
○新採用職員研修 [後期] (工事設計、施工管理)	: 11月17日	(参加者 3名)																																																		
○工事監督職員研修 (設計積算、施工管理、検査)	: 8月2日	(参加者 39名)																																																		
○主任監督職員研修 (入札・支払事務等)	: 8月21日	(参加者 29名)																																																		
○ソフト実務研修 [積算システム]	: 5月11日	(参加者 4名)																																																		
[電子納品入門編]	: 5月11日	(参加者 7名)																																																		
[土木CAD・入門編]	: 7月1日	(参加者 6名)																																																		
[建築CAD・入門編]	: 7月2日	(参加者 1名)																																																		
[土木CAD・スキルアップ]	: 9月28日	(参加者 1名)																																																		
[電子納品・スキルアップ]	: 9月28日	(参加者 2名)																																																		
[情報共有システム]	: 11月8,9日	(参加者 10名)																																																		
○専門研修 (現場の安全対策)	: 10月27日	(参加者 33名)																																																		
○技術職員基礎研修 (建設関連法規及び実施計画)	: 10月27日	(参加者 15名)																																																		
○技術継承研修 [土木]	: 11月24日	(参加者 41名)																																																		
// [電気]	: 11月25日	(参加者 28名)																																																		
○資格試験の受験案内、試験合格のための講座案内	: 8回																																																			
指 標																																																				
計 画		結 果・成 果																																																		
技術職員研修会の理解度：90%以上		技術職員研修会の理解度：98.6%																																																		
建設系資格の受験者数： 19人(2年度)→20人以上(3年度)		建設系資格の受験者数：23人																																																		
成果・課題	<p>職員研修については、年間15回開催し、参加者数は延べ222人でした。アンケートによる研修の理解度は98.6%で、目標を達成することができました。理解度が100%に達しなかった研修については、電話やメール等による質問の案内を行い、理解できなかった内容を個別に説明や解説をする等、フォローアップに努めました。</p> <p>また、建設系資格の受験については、C-Naviの技術インフォメーションを通じて、技術士や土木施工管理技士の受験対策セミナー等、各種資格取得に関する案内を8回実施したところ、受験者数は23人となり、目標を達成しました。</p> <p>なお、現在の技術研修計画は、策定後6年を経過し、研修の一部に現状に即さない内容が見られることから、構成や手法を見直した研修プログラムに改正しました。令和4年度からは、新しいプログラムに基づき、基礎的な部分を継承しながら、外部講師のオンライン講義や、繰り返し研修ができるメニュー構成を取り入れることで、技術系職員の更なるスキルアップを図ります。</p> <p>今後も、全受講者が理解し、基礎知識や技術の習得に加え、現場での指導力向上を目的とした研修を実施するとともに、資格試験の受験を促し、技術職員の人材育成に一層努めます。</p>																																																			

2	コスト構造改善業務の推進			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>コスト構造改善マネジメント指針（平成 29 年度～令和 3 年度）に基づき、工事のコスト構造改善と品質確保について、コスト構造改善推進専門部会の研修等を通じて監督職員に周知・啓発を図ります。</p> <p>さらに、公共工事等技術研究発表会を行い、若手職員の業務改善への意識向上に努め、その取組内容を市民に広く PR することで、公共工事への理解とイメージアップを図ります。</p> <p>また、国が進める i-Construction の取組について積極的な情報収集及び発信に努め、建設業における働き方改革を推進します。</p>				
	取組内容	<p>○コスト構造改善専門部会研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催 : 5 月 7 日 書面開催 令和 2 年度の実績報告及びコスト構造改善マネジメント指針の取組に関する説明 ・第 2 回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催 : 10 月 20 日 出席者 14 名 令和 3 年度の間接報告及び第 2 回目研修（指針見直し等） ・第 3 回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催 : 2 月 10 日 出席者 17 名 新コスト構造改善マネジメント指針のあり方に関する検討 <p>○公共工事等技術研究発表会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 9 回公共工事等技術研究発表会 : 10 月 29 日 各所属のコスト構造改善等の技術的な創意工夫に関する取組事例発表（9 課 9 事例） <p>○国土交通省出前講座を活用した研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業コスト構造改善研修会（オンライン研修） : 8 月 25 日 参加者 20 名 講演 『公共工事の品質確保の促進、最新技術の活用』 講師 国土交通省 近畿地方整備局 企画部 技術管理課 課長補佐 多田 清富 氏 			
指 標					
計画			結果・成果		
<p>公共工事等技術研究発表会の開催 : 1 回</p> <p>国土交通省出前講座を活用した研修の開催 : 1 回</p> <p>コスト構造改善推進専門部会研修の開催 : 3 回</p>	<p>公共工事等技術研究発表会の開催 : 1 回</p> <p>国土交通省出前講座を活用した研修の開催 : 1 回</p> <p>コスト構造改善推進専門部会研修の開催 : 3 回</p>				
成果・課題	<p>コスト構造改善専門部会研修を 3 回開催し、コスト構造改善マネジメント指針の内容、改正品確法に係る施策、及び i-Construction を含む働き方改革の周知・啓発を図りました。</p> <p>また、平成 25 年度から通算して 9 回目となる公共工事等技術研究発表会を開催しました。その結果、9 課から 9 事例の発表があり、職員の技術力やプレゼンテーション力の向上に繋がりました。</p> <p>さらに、国土交通省の出前講座を活用した研修では、講師から公共工事における品質確保についての最新情報、ICT 建設機械や UAV（ドローン）等を活用した施工事例についてオンラインで受講し、専門部会委員に現場の省力化や効率化に繋がる取組と課題を整理し、導入を進める必要があるとの意識付けができました。</p> <p>計画期間の最終年度であるコスト構造改善マネジメント指針に基づいた職員研修等により、制度の理解度を高めるとともに、設計審査において技術的な指導を行うことによって、生産性向上と財政再建計画を踏まえたコスト縮減を図ることができました。</p> <p>今後も、コスト構造の改善と品質確保、さらに建設業の働き方改革に取り組んでいくため、新たに「福井市建設工事生産性向上・働き方改革指針」を作成しました。この指針に基づき、公共工事のコスト縮減に引き続き取り組むとともに、工事現場の生産性向上、働き方改革の推進を図ります。</p>				

II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の会計実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な管理運用に努めます

4	適正な会計事務の執行と公金の効率的な管理運用		達成度 
実行内容			
行動目標	法令・規則に基づく適正な会計事務を継続するため、研修内容の充実やチェック体制の強化により、職員の会計実務能力の向上を図ります。今年度は時間や場所にとらわれず、誰もが会計事務を分かりやすく理解できるようにするため、動画等を活用した新たな研修方法の構築に取り組み、来年度の本格導入を目指します。さらに、現金及び金券等を取扱う所属に対しては現地検査を実施し、適正な取扱いを徹底します。 また、公金管理においては、収支計画及び資金状況を正確に把握し、安全で効率的な管理運用に努めます。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○会計事務（出納、財政、財産、契約、監査部門）研修会の実施（5月27日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 課長補佐・副課長、係長 98名出席/103所属 ・内容 全庁の課題及び定期監査結果（指摘事項等） ○動画を活用した新たな研修（トライアル版）の作成（6月～2月） <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームを編成し、歳出・歳入等に係るe-ラーニング研修動画教材（10講座）を作成 ・職員にトライアル版を公開し、アンケートを実施 ・アンケートをもとに4月の本格導入に向けて修正 ○金融機関検査の実施（8月10日～9月6日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 指定金融機関：福井銀行 収納代理金融機関：みずほ銀行ほか13機関 ○現金等保管状況調査・実地検査の実施（9月1日～10月29日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 38所属（指摘事項のある所属 11所属） ・指導事項について、改善結果報告書を提出（1月末まで） ○適正な経理手順の周知・指導 <ul style="list-style-type: none"> ・定期監査結果に係る全庁共有・対応フローにより実施（10～3月） ○公金管理運用委員会の開催（11月18日） <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関経営状況、資金管理及び運用状況等を報告 ○定期監査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・対象所属(A)：44所属 指摘なし(B)：40所属 指摘あり(C)：4所属 ・指摘のない所属の割合(B/A) 40/44=90.9% 指摘のあった所属の割合(C/A) 4/44=9.1% 		
指 標			
計画		結果・成果	
会計事務研修会の理解度：90%以上 動画等を活用した新たな研修（トライアル版）の作成：12月まで 定期監査で指摘事項のない所属の割合：96%以上		会計事務研修会の理解度：96% 動画等を活用した新たな研修（トライアル版）の作成：12月 定期監査で指摘事項のない所属の割合：91%	
成果・課題	会計事務について、定期監査で指摘事項のない所属の割合については、わずかながら未達成となりましたが、今後も定期監査結果に係る全庁共有・対応フローに基づきリスク管理を行っていきます。 また、収入・支払の適正な事務執行を継続して行うため、特に、今年度新たな取組として、誰もが時間にとらわれず、自席で会計事務を分かりやすく学習できるように、e-ラーニング研修動画教材を自主制作し、4月から本格導入を行います。これらのことにより、今後も職員の適正な会計事務能力の向上に努めていきます。 公金管理については、自然災害等に備え、緊急の支出にも対応できるよう歳計現金の日々の収支を厳しくチェックし、綿密な収支計画のもと、安全で効率の良い公金管理の運用に努めました。来年度も、引き続き細心の注意を払い、関係所属と情報共有を図りながら、確実な管理運用に努めます。		